



風邪薬アスピリンは多く飲めば効き目がよくなる!?

①背景

風邪薬の主成分アスピリンは、解熱や痛み止め効果がある。
アスピリンは1回に飲む量が決まっているが、たくさん飲めば飲むほど効果が強くなる又は速く効くという認識の人が少なくない。よって、決められた量より多くを飲んでしまうケースがある。



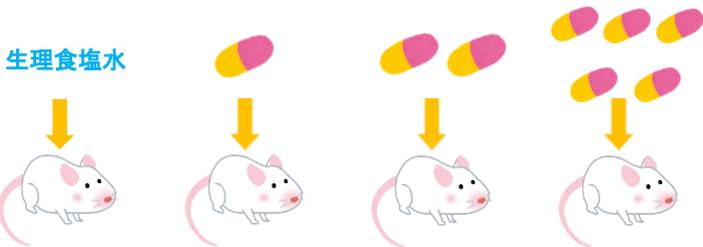
薬いっぱい飲めば早く治るだろう

②目的

アスピリンの飲む量を増やすと「薬の効果は強くなるのか」および「副作用も強くなるのか」を明らかにするために、マウスを使い、**解熱効果**、**鎮痛効果**、副作用である**腸粘膜の炎症**の3つの観点から検討した。

③方法

アスピリンの量を変えてマウスに投与した。



【アスピリンの作用】

薬効

解熱作用⇒直腸の体温を測定した。

鎮痛作用⇒腹部のフィラメント刺激方法を用いて回避行動を観察した。

副作用

腸粘膜の炎症⇒青色色素で染色し観察した。炎症が起こると斑点のようになる。

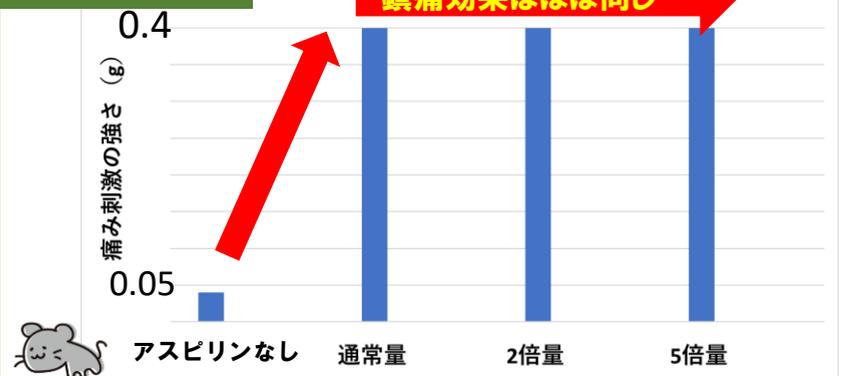
④結果

解熱作用の実験



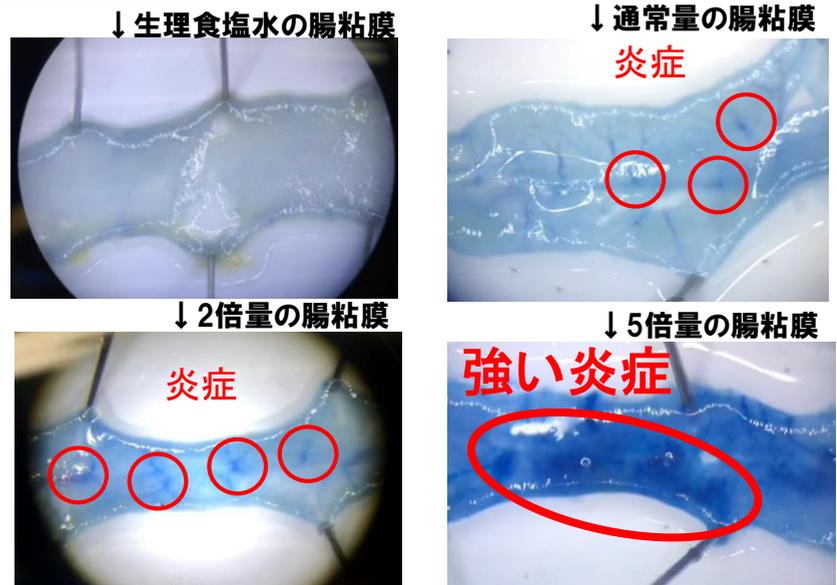
2倍量、5倍量にしても解熱効果は強くならなかった。

鎮痛作用の実験



2倍量、5倍量は通常量と同等の効果であった。

副作用の実験



多く飲むほど副作用の炎症が強く現れた。

⑤結論と提案

薬の飲む量を増やしても効果は変わらないが副作用は強く出る！
余分に飲んだ分は副作用を買っているようなもの。
薬は決められた量を守って飲もう！！